

随 時 監 理

令和 6 年度

仕 様 書

(随時監理用)

委託業務名：R 6 宮繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟改修監理業務

徳島県県土整備部宮繕課

仕様書（随時監理用）

1 総則

- (1) 受託者（以下「乙」という。）は、設計図書（図面、工事仕様書等（閲覧補足説明書及び同書に対する質問回答書を含む、以下同じ。）をいう。以下同じ。）、工事請負契約書及び関係法令の内容について熟知の上、工事現場の状況に精通し、工事が完全に施工されるよう公正な立場に立って、かつ責任をもって以下の監理業務を行うものとする。
- (2) 委託者（以下「甲」という。）は、対象工事の監督員業務のうち、本仕様書で定める業務について乙に委託する。
- (3) 乙は、本業務を履行するにあたり業務担当技術者を定めるものとする。また、乙は業務担当技術者のうちから監督員の業務を分担する者を定め甲に通知し、その承諾を得るものとする。
- (4) 乙は工事監理にあたり、設計、施工内容上疑義が生じた場合は、直に県の監督員（以下「県監督員」という。）に通知し、県監督員及び県が必要と認めて派遣する設計者と協議のうえ、適切に監理を行うものとする。
- (5) その他、この仕様書に定める業務の処理に関して疑義が生じた場合は、速やかに甲乙協議して定めるものとする。

2 業務概要

- (1) 委託業務名 R 6 営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟改修監理業務
- (2) 業務箇所 徳島市北矢三町1丁目
- (3) 履行期間 契約書による。
- (4) 業務対象工事
本業務の対象となる工事（以下「対象工事」という。）は、下記のとおりとする。

工 事 名	工 期	設計金額(千円)	備 考
R 6 営繕 徳島中央高等学校 徳 ・北矢三 西棟内部改修工事建築	令和8年1月31日まで	約350,000千円	※工期は予定
R 6 営繕 徳島中央高等学校 徳 ・北矢三 西棟外部改修工事	令和7年2月28日まで		
R 6 営繕 徳島中央高等学校 徳 ・北矢三 西棟改修工事電気	令和8年1月31日まで		
R 6 営繕 徳島中央高等学校 徳 ・北矢三 西棟改修工事管	令和8年1月31日まで		
R 6 営繕 徳島中央高等学校 徳 ・北矢三 西棟改修工事空調	令和8年1月31日まで		

3 業務内容

(1) 設計監理業務

- ア 設計意図を工事請負業者に正確に伝えるために必要な打合せ及び図面等の作成
- イ 設計図書に基づいて工事受注者が作成する各種施工図、模型、材料、仕上げ見本及び機器製作図の検討及び承諾。
- ウ 設計変更が生じた場合の、県監督員等との協議並びに設計変更図書の作成及び工事費の積算。
なお、変更設計書については、営繕積算システムR I B C 2データで提出すること。

(2) 現場監理業務

- ア 設計図書に基づく工程の管理、立会い、工事施工状況の検査及び工事材料の試験若しくは検査。
- イ 契約の履行に関し、県監督員が工事受注者に対して行う指示、承諾又は協議についての事前の検討。
- ウ 工事に関連する関係諸機関との協議。
- エ 関連する2以上の工事における工程等の調整。
- オ 県監督員と工事受注者及び関係機関等との連絡。
- カ 工事の内容に変更等の必要があると認められた場合、その理由及び事項の報告。
- キ 対象工事の竣工検査及び部分払い検査に対する協力。
- ク 契約図書に基づき、工事受注者から県監督員に提出される書類等の整理。
- ケ 工事に関する官公署への提出書類等の作成。
- コ 定例会及び県監督員との協議等の議事録の作成。
- サ 現場定例会議への参加と会議の進行に係る業務。（管理技術者：1回/月、主任担当技術者：毎回）

4 業務担当技術者の種別及び資格等

業務担当技術者は次のとおりとする。

(1) 管理技術者（1名以上）

管理技術者は、一級建築士の資格を有し、かつ対象工事全般についてその設計図書を掌握し、工事の施工監理について高度の技術・経験及び能力を有するものとする。

(2) 主任担当技術者（建築担当技術者、設備担当技術者 各1名以上 ただし上記（1）以外の者とする）

主任担当技術者は、工事について、その設計意図を十分に理解し、設計内容に精通すると共に、工事の施工監理について相当の経験と能力を有するもので、大学卒業後5年以上又はそれと同等の経験を有するものとする。

5 業務の処理要領

(1) 甲は県監督員を定め乙に通知する。

(2) 甲は対象工事について、工事請負契約の締結又は変更を行った場合、若しくは工事受注者に対して、この業務に関する内容の指示を与えたときは、遅滞なく乙にその内容を通知するものとする。

なお、工事受注者に対する設計変更指示は、甲のみが行い、乙が行うことはできない。

(3) 乙は、業務の経緯及び履行状況が確認できるように、必要な図書及び記録を整理し、県監督員の指示により直ちに提出するものとする。

(4) 乙は、業務を処理した場合は、その都度、その概要を文書により県監督員に報告するものとする。

(5) 乙の担当職員と県監督員の上記以外の処理業務については、別表「工事監理業務一覧表」によるものとする。また、当該業務の処理方法は、「工事監理業務処理要領表」を参考にする。

なお、別表に定めのない事項については、甲乙協議のうえ実施するものとする。

- (6) 乙は、甲に下記の書類を提出するものとする。
なお、様式については甲の指示によるものとする。

ア 着手時

- ・業務計画書

イ 各月末(翌月の10日までに提出)

- ・工事監理状況報告書

ウ 部分引渡し時

- ・委託業務部分引渡しに係る検査請求書
- ・工事進行写真、監理日誌、打合せ簿及び各種記録簿

エ 完了時

- ・委託業務完了検査請求書
- ・工事竣工及び完了写真、監理日誌、打合せ簿及び各種記録簿

オ 随時

- ・別表「工事監理業務一覧表」で定められた報告書類
- ・その他必要な書類

6 貸与品、その他

- (1) 対象工事の設計図書に定められた監督員事務所及びその備品のうち、県監督員の指定するものは、この業務に関し無償で使用することができる。これらの貸与品は、善良な管理者の注意をもって使用しなければならない。
- (2) この業務を行うに必要な業務資料は、貸与又は閲覧することができる。貸与されたものは業務完了時に、速やかに返却するものとする。
- (3) 年度末及び部分引渡し時には、工事の出来高に応じ、各年度の契約額の範囲内で部分引渡しに係る業務委託料の支払いをすることができる。
- (4) 工事の出来高については、令和6年度 約60%、令和7年度 約40%である。
- (5) 追加設計変更が生じた場合は、営繕課が定める監理委託料変更算定基準により委託料の変更を行う。ただし、設計に契約不適合がある場合は除く。(契約不適合がある場合は当初設計受託者が設計変更を行う)

別表

工事監理業務一覽表

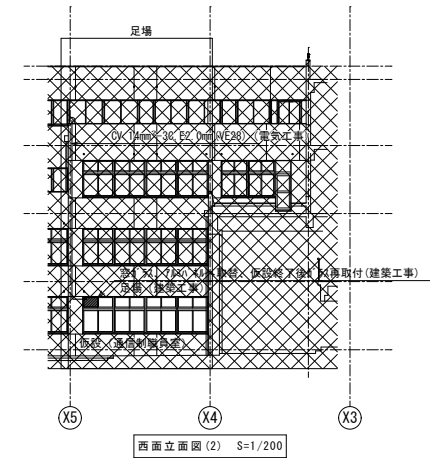
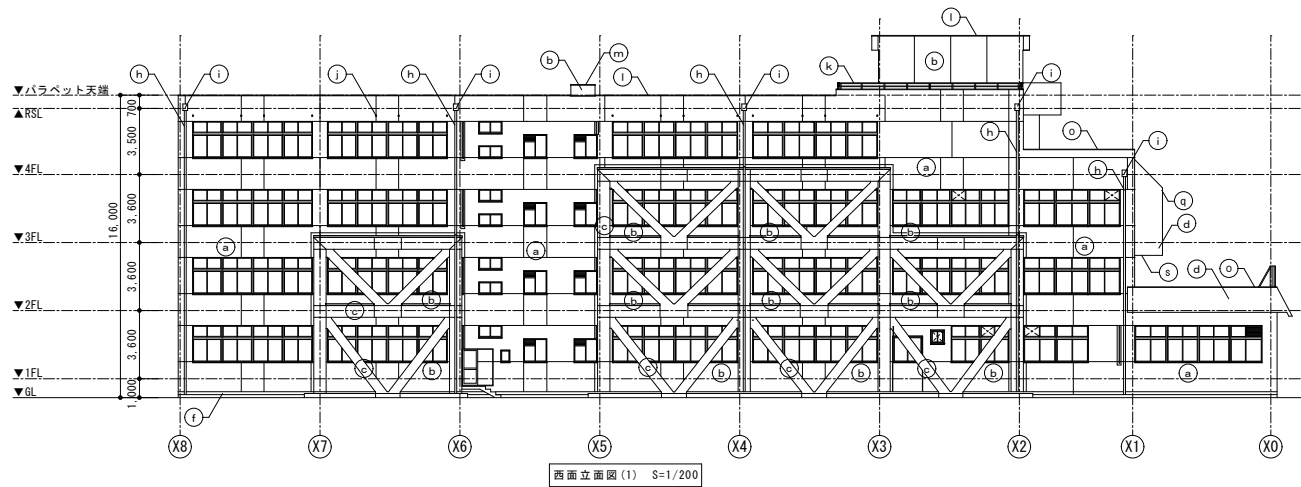
処理区分 業務事項	業務担当技術者							県監督員					備考	
	立会	指示	承認	確認	検査	協議	調査	報告	立会	同意	確認	検査		処理
1 書類関係														
工事工程表											○		○	工程段階払率表による 県へ直接
現場代理人及び主任技術者等選任(変更)通知書											○		○	県へ直接
施工管理技術者				○							○			
技術者台帳											○		○	県へ直接
電気保安技術者				○							△			
工사용電力設備保安責任者				○							△			
技能資格者証明				○							△			
技能士チェックシート				○							△			
施工体系図				○			△	○			○		△	
施工体制台帳				○			△	○			○		△	
再下請負通知書				○			△	○			○		△	
工事実績情報サービス(CORINS)											○		○	県へ直接
官公署竣工検査	○			○				○	○		○		○	消防署、労基局、警察署、保健所等
工事部分払検査請求書				○							○		○	
工事施工報告書				○							○		○	
工事報告(進達質疑)書											○		○	
火災保険等				○							○		○	火災保険、建設工事
事故報告書				○			○	○			○		○	
工事中止・解除通知	○						○	○	△		○		○	
設計変更箇所一覽表				○			△	○			○			
設計変更箇所確認書				○				○			○		○	
材料品検収願				○			△	○			○			出荷証明等
工事竣工検査請求書				○				○			○		○	
完成図・工事写真その他				○				○			○		○	保全資料

処理区分 業務事項	業務担当技術者							県監督員					備考
	立会	指示	承諾	確認	検査	協議	調査	報告	立会	同意	確認	検査	
2 準備													
工事予定表				○				○		○			
実施工程表		△	○					○		○			
総合施工計画書		△	○					○		○			
施工見本	△		○	○				○	△	○			
仕上材、(色)の決定	○		○	○				○	△	○			
施工図		△	○					○		△			
工種別施工計画書		△	○					○		○			
3 材料													
配合計画書		△	○					○		○			
機器製作図 (機材承認図)		△	○					○		○			
同等品使用願				○			○	○			○		○
材料品検収願		△	○		○			○		○			
材料・製品検査(試験) 工場検査	△	△		○	△			○	△		△	△	
4 安全関係													
支障物件確認書	○			○				○	△		○		
県監督員の確認後の工事着手とする。													支障物件確認書
仮囲い等	○			○				○	△		△		
安全再確認シート													
墜落防止チェックシート				○				○			△		
足場	○			○				○	△		○		
県監督員の確認後の足場使用開始とする。													足場チェックリスト
5 施工													
監督員事務所		△	○					○			○		
敷地調査	○			○				○	△		△		
一工程の施工の確認	○	△	○	○	○			○	△	○	△	△	
1工程毎													
工法提案						○		○			○		

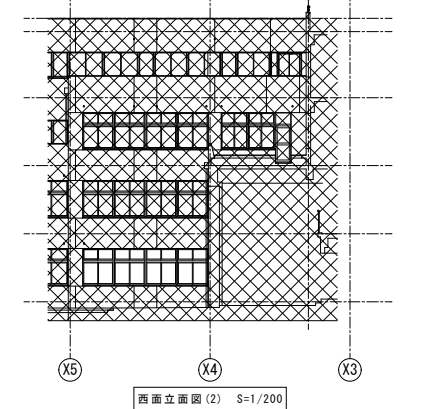
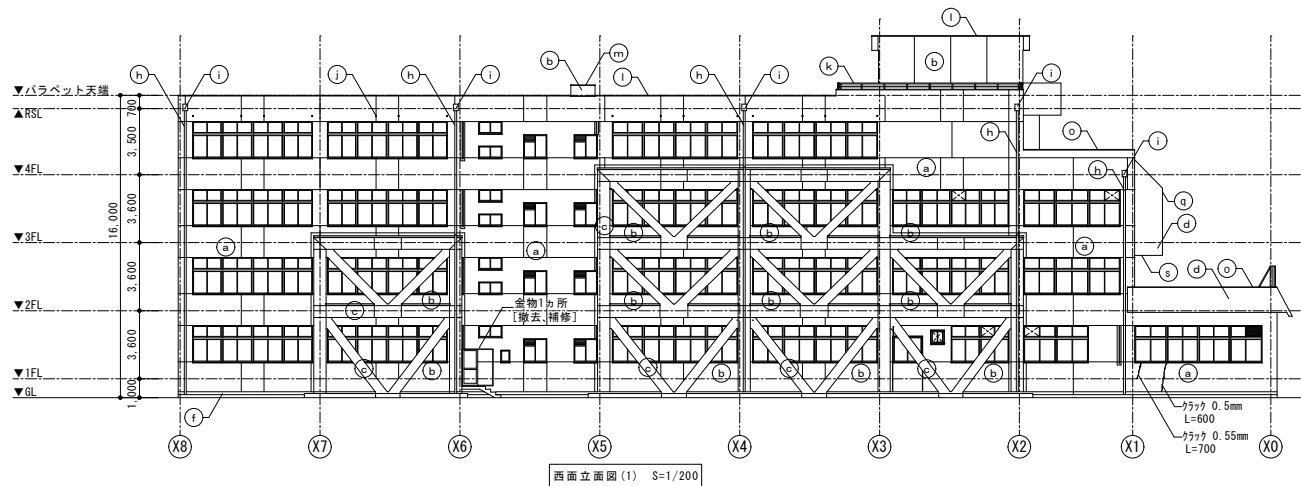
処理区分 業務事項	業務担当技術者							県監督員					備考	
	立会	指示	承諾	確認	検査	協議	調査	報告	立会	同意	確認	検査		処理
ベンチマーク	○	△			○			○	△		△			
地縄張り	○	△			○			○	△		△			
遣りかた	○	△			○			○	△		△			
墨出検査	△				○			○	△		△			
文化財発見	○			○				○	△		△			
根切り完了	△				○			○	△		△			
発生材処理	△			○				○	△		△			
防水改修工事	○	△	○	○	○			○	△	○	△	△		アンカー引張試験
外壁改修工事	○	△	○	○	○			○	△	○	△	△		施工数量確認等
鉄筋組立	○		○		○			○	△		△			各部位毎
鉄筋超音波探傷試験	○		○		○			○	△	△	△			
コンクリート工事	○		○		○			○	△		△			
鉄骨超音波探傷試験	○		○		○			○	△	△	△			
鉄骨締付建方	○		○		○			○	△		△			
機器搬入取付			○		△			○		△	△			
各工事区分間の調整			○	○			○	○		○			○	
埋設物等の重要な施工	△		○	○	○			○	△	○	△			スリーブ配管、インサート取付等
設備機能試験 (検査・調整を含む)	○				○			○	△		△			
各種測定結果表				○				○			△			
公害関係	○		○					○		○			○	
部分払検査 中間検査	○				○			○	○			○	○	
竣工検査	○				○			○	○			○	○	
手直し検査	○			○	○			○	○		○	○	○	

凡例：△ 必要とする場合のみ

(注) 立会等 \square の用語の定義は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書による対象工事により必要となる業務事項を適用する



改修後
↑
改修前



外部仕上表-1	
改修前	改修後
a コンクリート打放し+外装薄層塗材E	外装材A
e1 50角鉄筋【撤去】	外装材C
b コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
c コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
d 防水モルタル+防水形複層塗材E	外装材B
n 鋼製下地+角波鉄板 t=0.5	水洗い工法
f モルタルこて	既存のまま
e コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
h 縦桟：VPφ100鉄-（組み金物共）	既存のまま
i 化粧桟：塩ビ製 330×320 鉄-	既存のまま
l 通気パイプ：塩ビ製 50φ SOP塗リ	DP塗替え 一部破損箇所有り、東立面図図示（2か所）

外部仕上表-2	
改修前	改修後
k 7&5製手摺	既存のまま
l 笠木：防水モルタル塗	既存のまま
m 笠木：防水モルタル金コテ+防水形複層塗材E	外装材B
n 笠木：モルタル金コテ	既存のまま
o 笠木：クレタ塗膜防水	既存のまま
p 笠木：7&5製	既存のまま
q 軒天：コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
d 軒天：フレックシブル+防水形複層塗材E	外装材E
r 軒天：コンクリート打放し+外装薄層塗材E	外装材A
s 軒天：t=4.0mm石棉板下地VP塗装	外装材F
l モルタル水切り【撤去】	外装材D

未調査部分の算定 面積比率
調査部分…壁面1階部分
未調査部分…壁面2～R階部分
外壁面積の算出は数量調査にて

西棟	外壁1階部分	外壁2～R階部分			
		2階部分	3階部分	4階部分	R階部分
	461.49㎡	404.72㎡	453.61㎡	357.98㎡	1155.67㎡
面積比率算出	1371.98㎡ / 461.49㎡ × 0.7 = 2.081 → 2.081				

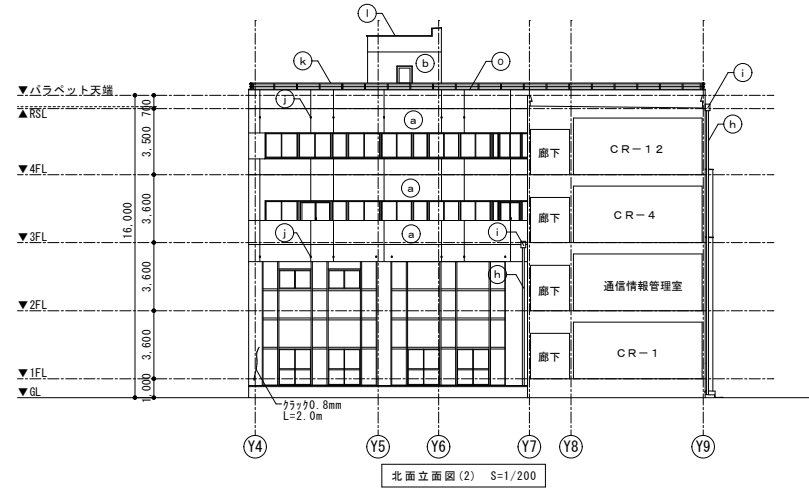
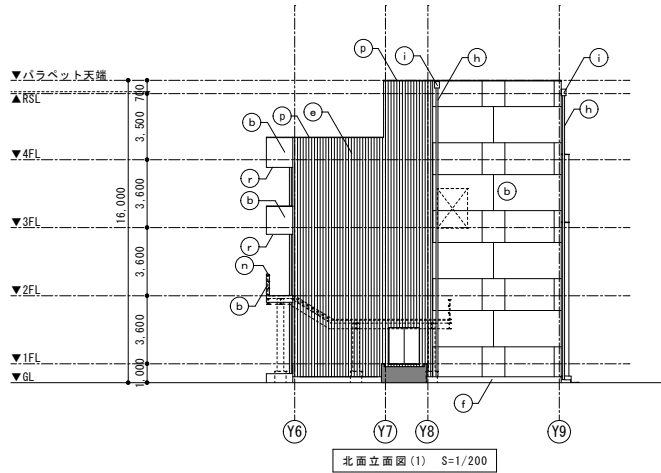
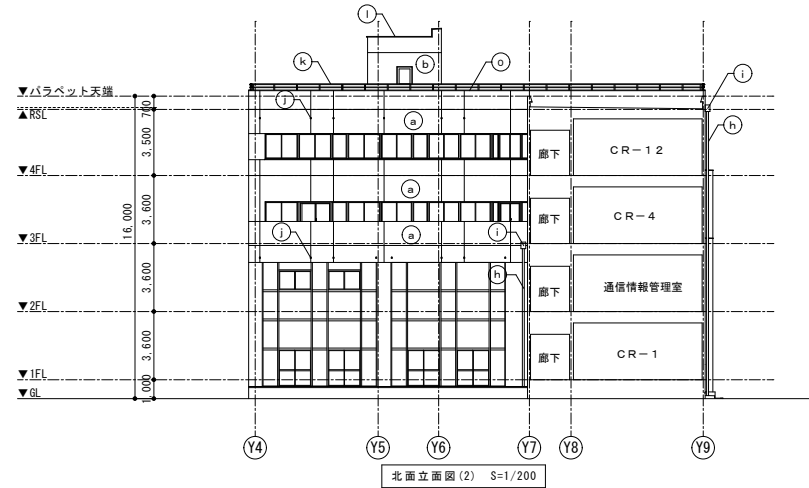
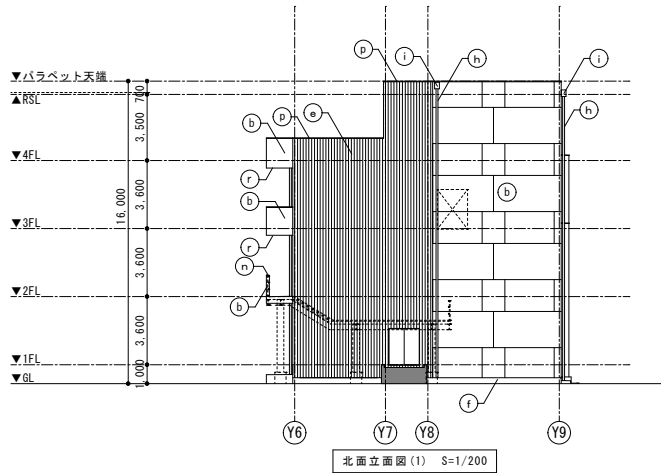
※特記事項
・外壁記入中割がれ、浮きは改修標準4.5.4既存塗膜の除去、
下地処理及び下地調整の事で有り、モルタル刷毛引き仕上では無い。
従って外壁数量清算には適用しない。
・改修標準4章3節モルタル仕上げ外壁の改修適用は建具下の
サッシ部が適用と成る。
・メッシュは改修標準4.2.5樹脂注入工法とする。

メッシュ補修 数量表 (設計時調査範囲且つ 1階のみ)	
北面	2.00m
西面	1.30m
南面	0.00m
東面	1.15m
小計	4.45m

調査範囲と未調査範囲との割合により推定される数量 × 0.7 (70%) = 9.3m

注記
上記○面は、耐震改修時施工部分を示す。

徳島県県土整備部営繕課	工事名	R6営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟外部改修工事	図面番号	B-003	株式会社 上設計 管理建築士 一級建築士 第232263号 上柿 重信 〒779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光寺町45番地7 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966
	図名	西立面図 (改修前・改修後)	縮尺	A3 1/282 A2 1/200	
	作図年	2024			



改修後
↑
↓
改修前

外部仕上表-1	
改修前	改修後
Ⓐ コンクリート打放し+外装薄塗材E	外装材A
Ⓔ 50角パイプ張り【撤去】	外装材C
Ⓑ コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓒ コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓓ 防水モルタル+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓔ 鋼製下地+角波板+GL鋼板 t=0.5	水洗い工法
Ⓕ モルタル金こて	既存のまま
Ⓖ コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓗ 縦樋：VPφ100ｶﾞｰ(細み金物共)	既存のまま
Ⓘ 化粧珪：塩ビ製 330×320 ｶﾞｰ	既存のまま
Ⓙ 通気ﾊﾞｲﾌﾟ：塩ビ製 50φ SOP塗り	DP塗替え 一部破損箇所有り、東立面図示(2か所)

外部仕上表-2	
改修前	改修後
Ⓚ 7ﾏｰ製手摺	既存のまま
Ⓛ 笠木：防水モルタル塗	既存のまま
Ⓜ 笠木：防水モルタル金ｺｰ+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓝ 笠木：モルタル金ｺｰ	既存のまま
Ⓞ 笠木：ウレタン塗膜防水	既存のまま
Ⓟ 笠木：7ﾏｰ製	既存のまま
Ⓠ 軒天：コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓡ 軒天：フレキシブルﾌﾞｰﾄﾞ+防水形複層塗材E	外装材E
Ⓢ 軒天：コンクリート打放し+外装薄塗材E	外装材A
Ⓣ 軒天：t=4.0mm石棉板下地VP塗装	外装材F
Ⓤ モルタル水切り【撤去】	外装材D

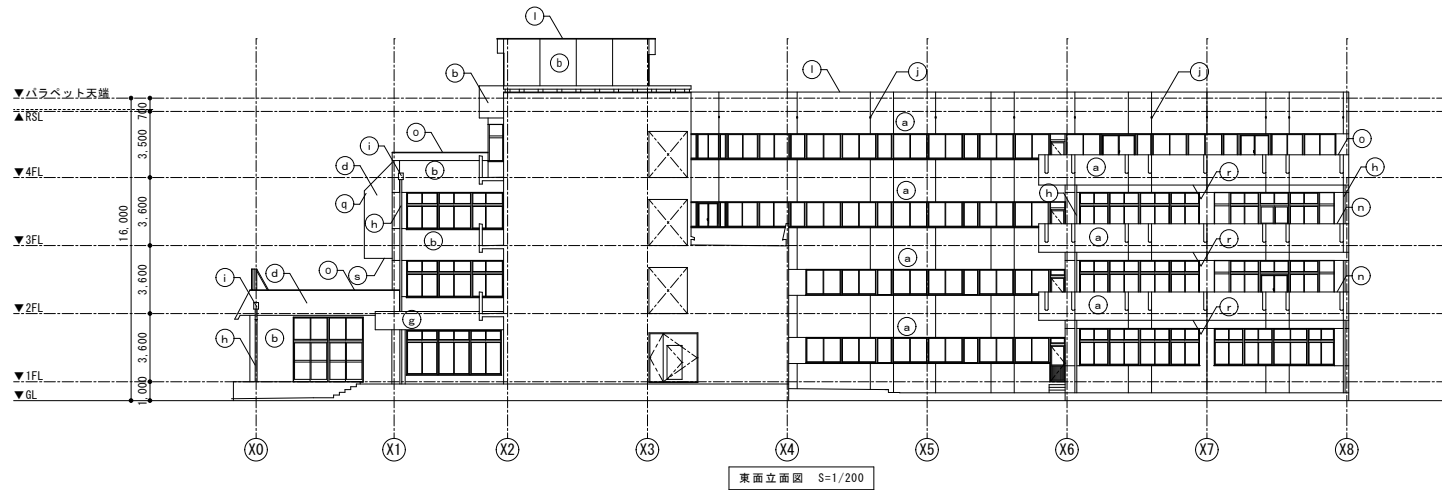
注記
上記Ⓒ面は、耐震改修時施工部分を示す。

徳島県土整備部営繕課	工事名	R6営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟外部改修工事
	図名	北立面図(改修前・改修後)

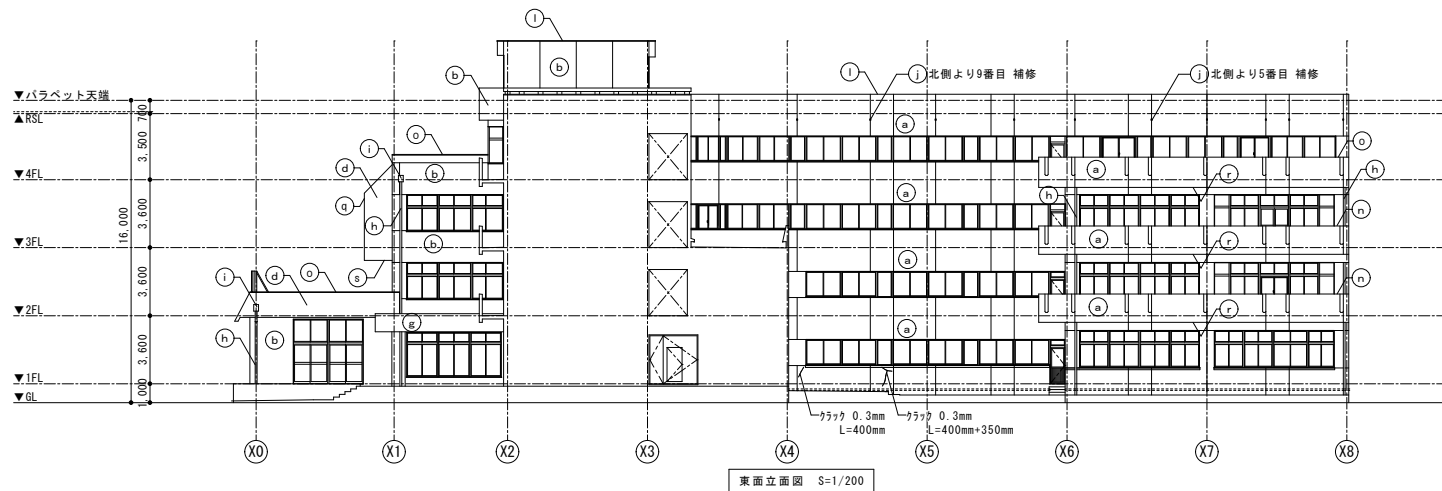
図面番号	B-004
作図年	2024

株式会社上設計
 管理建築士 一級建築士 第232263号 上杉 重信
 〒779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光寺町45番地7
 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966

縮尺	A3 1/282
	A2 1/100



改修後
↑
↓
改修前

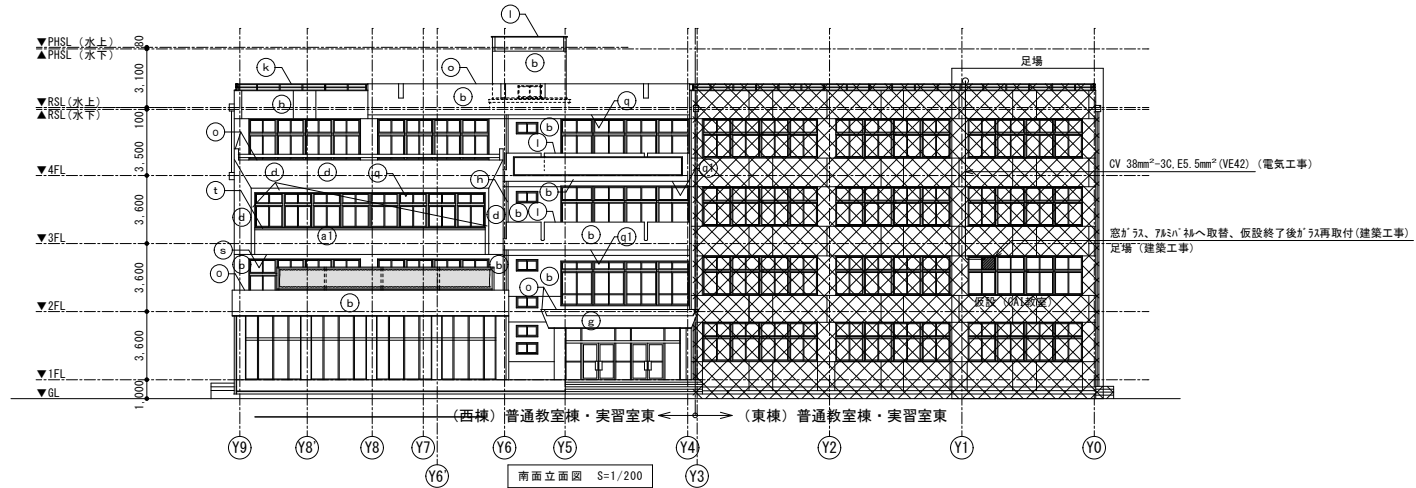
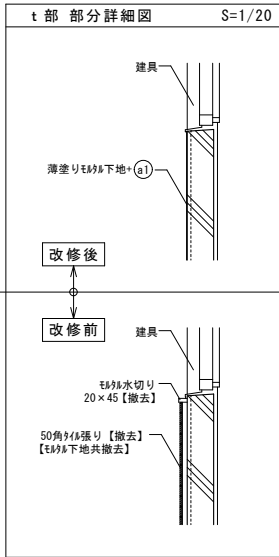


外部仕上表-1	
改修前	改修後
Ⓐ コンクリート打放し+外装薄塗材E	外装材A
Ⓔ 50角パイプ張り【撤去】	外装材C
Ⓒ コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓓ コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓗ 防水モルタル+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓔ 鋼製下地+角波板+GL銅板 t=0.5	水洗い工法
Ⓕ モルタル金こて	既存のまま
Ⓖ コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓖ 縦樋：VPφ100ｶﾞｰ(組み金物共)	既存のまま
Ⓙ 化粧珪：塩ビ製 330×320 ｶﾞｰ	既存のまま
Ⓙ 通気ﾊﾞｲﾌﾟ：塩ビ製 50φ SOP塗り	DP塗替え 一部破損箇所有り、東立面図示(2か所)

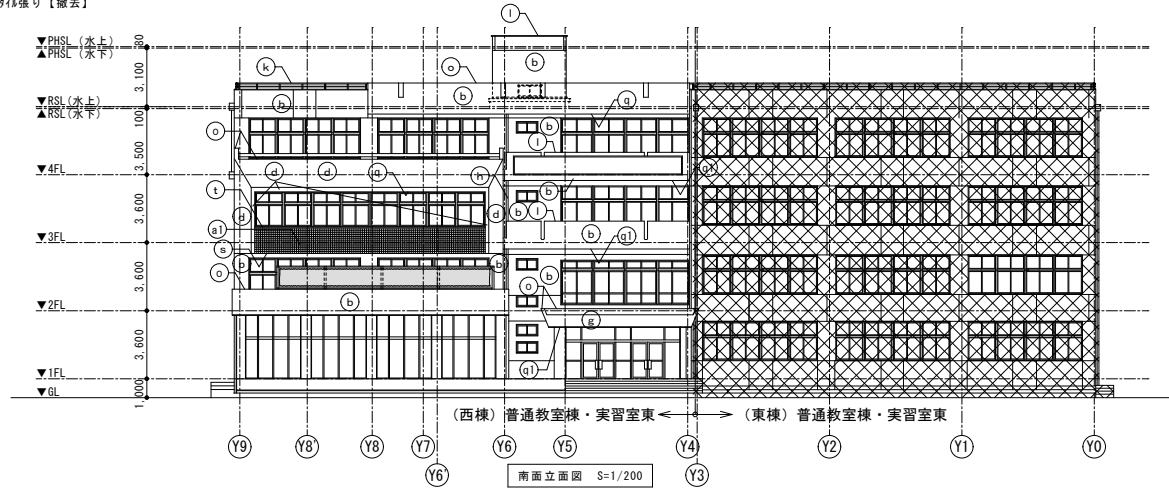
注記
上記 Ⓒ 面は、耐震改修時施工部分を示す。

外部仕上表-2	
改修前	改修後
Ⓚ 7&3製手摺	既存のまま
Ⓛ 笠木：防水モルタル塗	既存のまま
Ⓜ 笠木：防水モルタル金ｺｰ+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓝ 笠木：モルタル金ｺｰ	既存のまま
Ⓞ 笠木：ウレタン塗膜防水	既存のまま
Ⓟ 笠木：7&3製	既存のまま
Ⓠ 軒天：コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓡ 軒天：フレキシブル+防水形複層塗材E	外装材E
Ⓢ 軒天：コンクリート打放し+外装薄塗材E	外装材A
Ⓣ 軒天：t=4.0mm石棉板下地VP塗装	外装材F
Ⓤ モルタル水切り【撤去】	外装材D

徳島県県土整備部営繕課	工事名	R6営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟外部改修工事	図面番号	B-005	株式会社 上設計 管理建築士 一級建築士 第232263号 上柿 重信 〒779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966
	図名	東立面図 (改修前・改修後)	縮尺	A3 1/282 A2 1/100	
			作図年	2024	



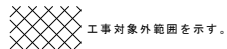
50角鉄張り【撤去】



外部仕上表-1	
改修前	改修後
Ⓐ コンクリート打放し+外装薄塗材E	外装材A
Ⓐ 50角鉄張り【撤去】	外装材C
Ⓑ コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓒ コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓓ 防水モルタル+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓔ 鋼製下地+角波鉄-GL鋼板 t=0.5	水洗い工法
Ⓕ モルタル金こて	既存のまま
Ⓖ コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓗ 縦樋：VPφ100鉄-（摺り金物共）	既存のまま
Ⓘ 化粧板：塩ビ製 330×320 鉄-	既存のまま
⓫ 通気バリエール：塩ビ製 50φ SOP塗り	DP塗替え 一部破損箇所有り、東立面図示す(2か所)

注記
上記 ③ ④ ⑤ ⑥ は、耐震改修時施工部分を示す。

外部仕上表-2	
改修前	改修後
Ⓚ 7A製手摺	既存のまま
Ⓛ 笠木：防水モルタル	既存のまま
Ⓜ 笠木：防水モルタル+防水形複層塗材E	外装材B
Ⓨ 笠木：モルタル	既存のまま
Ⓩ 笠木：ウレタン塗膜防水	既存のまま
ⓐ 笠木：7A製	既存のまま
ⓑ 軒天：コンクリート打放し+防水形複層塗材E	外装材B
ⓓ 軒天：フレキシブル+防水形複層塗材E	外装材E
ⓔ 軒天：コンクリート打放し+外装薄塗材E	外装材A
ⓕ 軒天：t=4.0mm石棉板下地VP塗装	外装材F
ⓖ モルタル水切り【撤去】	外装材D



徳島県県土整備部営繕課

工事名 R6営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟外部改修工事

図名 南立面図 (改修前・改修後)

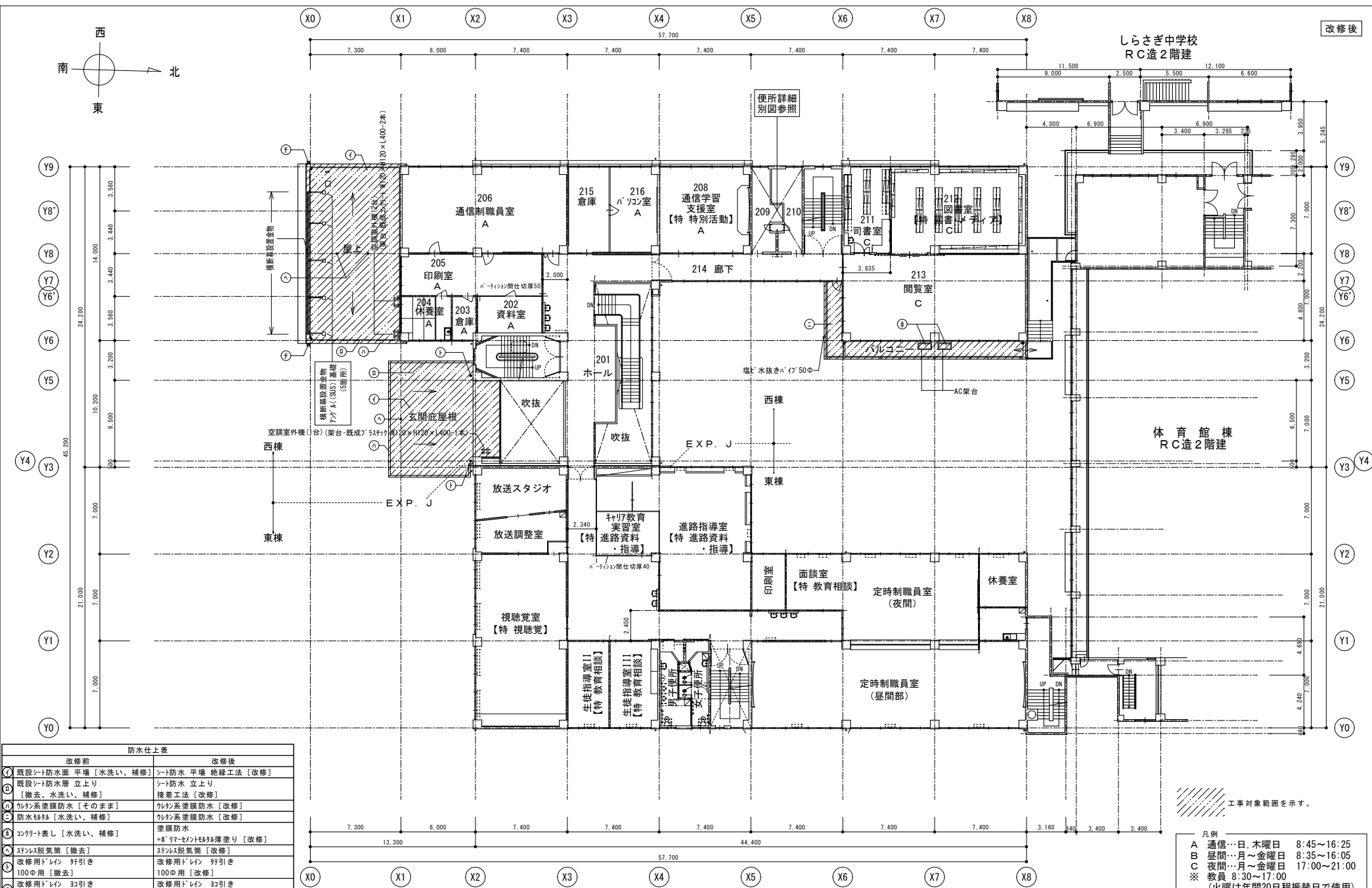
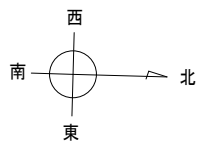
縮尺 A3 1/282
A2 1/100

図面番号 B-006
作図年 2024



株式会社 上設計

管理建築士 一級建築士 第232263号 上柿 重信
〒779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7 tel 0883-62-3955
fax 0883-62-3966



改修前		改修後	
①	既設シート防水面 平場【水洗い、補修】	シート防水 平場 絶縁工法【改修】	
②	既設シート防水層 立上り【撤去、水洗い、補修】	シート防水 立上り 接着工法【改修】	
③	クラック系塗膜防水【そのまま】	クラック系塗膜防水【改修】	
④	防水卷材【水洗い、補修】	クラック系塗膜防水【改修】	
⑤	コンクリート表シ【水洗い、補修】	塗膜防水 +*U-セメント系防水層塗り【改修】	
⑥	スチール製気筒【撤去】	スチール製気筒【改修】	
⑦	改修用ドレン 釘引き 100φ用【撤去】	改修用ドレン 釘引き 100φ用【改修】	
⑧	改修用ドレン 釘引き 100φ用【撤去】	改修用ドレン 釘引き 100φ用【改修】	
⑨	〃	オ-n-ド-管【改修】	
⑩	防水形複層塗材E【水洗い、補修】	防水形複層塗材E【改修】	

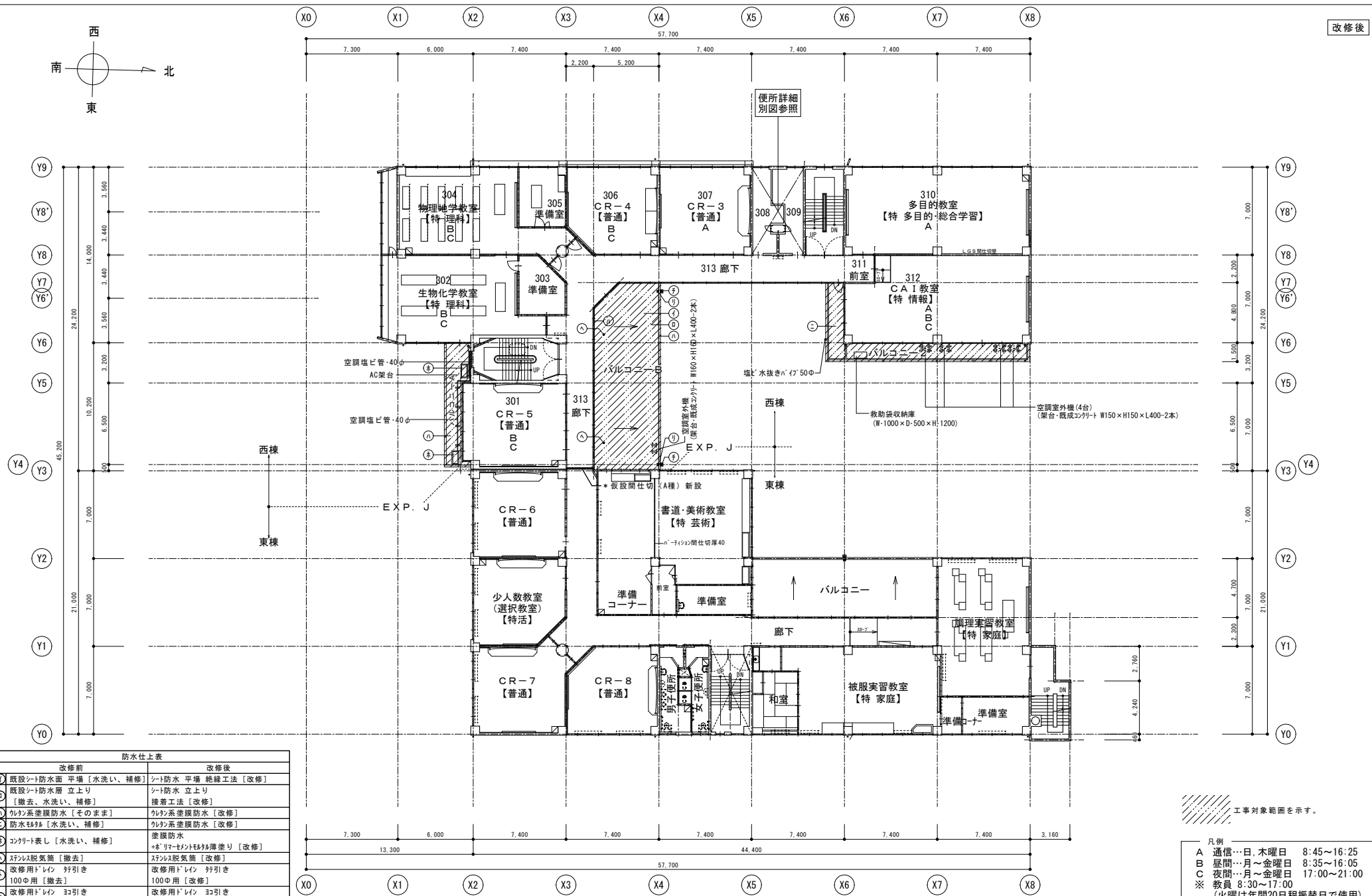
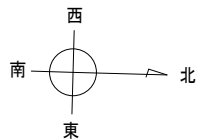
凡例

- A 通信…日、木曜日 8:45~16:25
- B 昼間…月~金曜日 8:35~16:05
- C 夜間…月~金曜日 17:00~21:00
- ※ 教員 8:30~17:00 (火曜は年間20日程振替日で使用)

工事対象範囲を示す。
 間仕切壁
 コンクリートブロック
 間仕切壁 木造

2階平面図 S=1/200

徳島県土整備部営繕課	工事名	R6 営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟外部改修工事	図面番号	B-007	 管理建築士 一級建築士 第232263号 上村 重信 〒779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光寺町45番地7 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966
	図名	2階改修図	作図年	2024	
	縮尺	A3 1/282 A2 1/200			

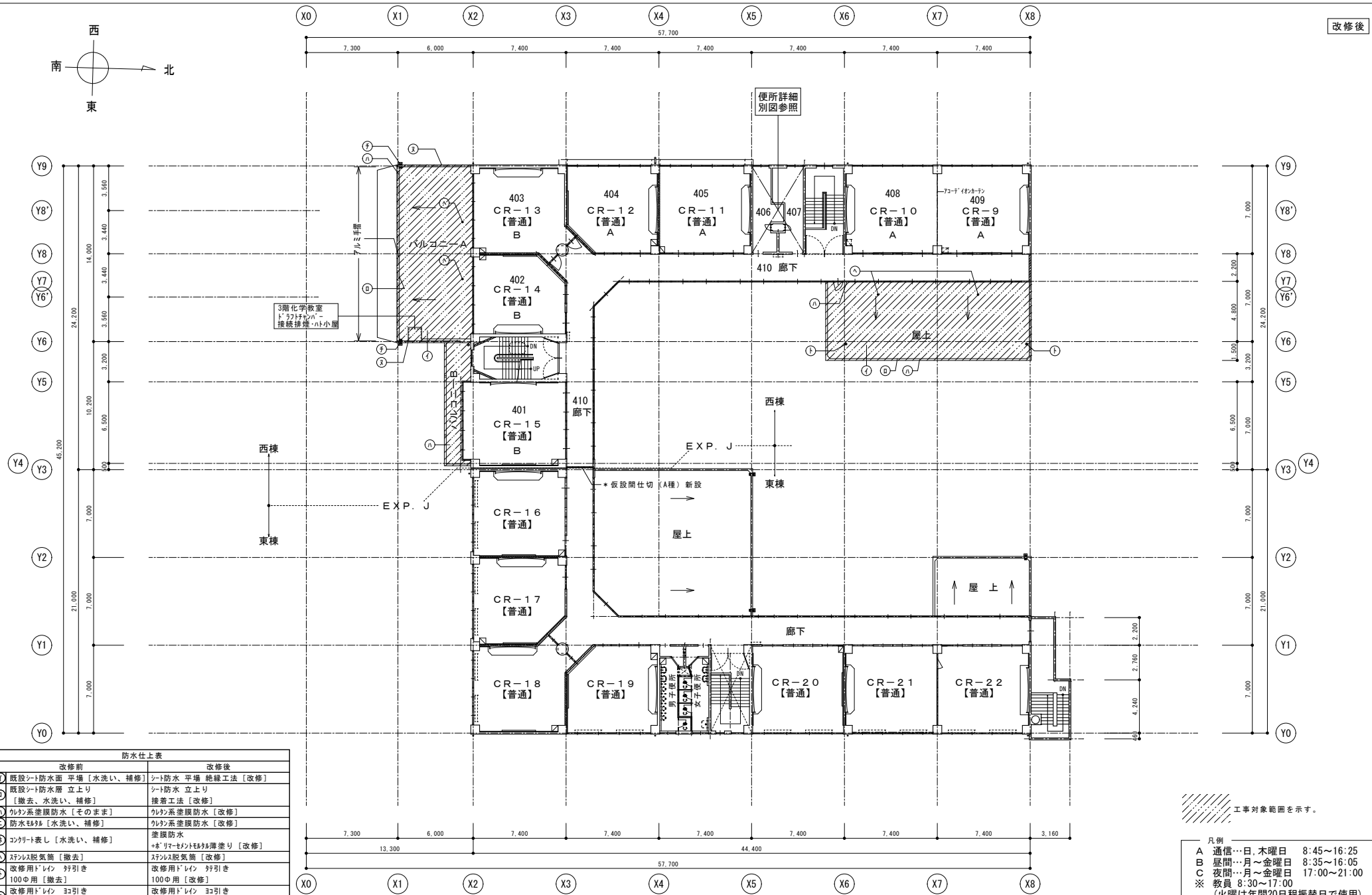
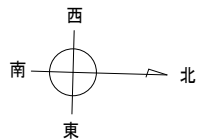


防水仕上表	
改修前	改修後
① 既設シート防水面 平場【水洗い、補修】	シート防水 平場 絶縁工法【改修】
② 既設シート防水層 立上り【撤去、水洗い、補修】	シート防水 立上り 接着工法【改修】
③ クレタ系塗膜防水【そのまま】	クレタ系塗膜防水【改修】
④ 防水卷材【水洗い、補修】	クレタ系塗膜防水【改修】
⑤ コンクリート表シ【水洗い、補修】	塗膜防水 +6*ウレタン樹脂塗塗り【改修】
⑥ ステンレス脱気筋【撤去】	ステンレス脱気筋【改修】
⑦ 改修用ドレン 釘引き	改修用ドレン 釘引き
⑧ 100φ用【撤去】	100φ用【改修】
⑨ 改修用ドレン 3φ引き	改修用ドレン 3φ引き
⑩ 100φ用【撤去】	100φ用【改修】
⑪ //	オ-n-フロ-管【改修】
⑫ 防水形覆層塗材E【水洗い、補修】	防水形覆層塗材E【改修】

工事対象範囲を示す。

凡例
 A 通信…日、木曜日 8:45~16:25
 B 昼間…月~金曜日 8:35~16:05
 C 夜間…月~金曜日 17:00~21:00
 ※ 教員 8:30~17:00
 (火曜は年間20日程振替日で使用)

--- 間仕切壁 コンクリートブロック
 = 間仕切壁 木造



西棟
東棟

4階平面図 S=1/200

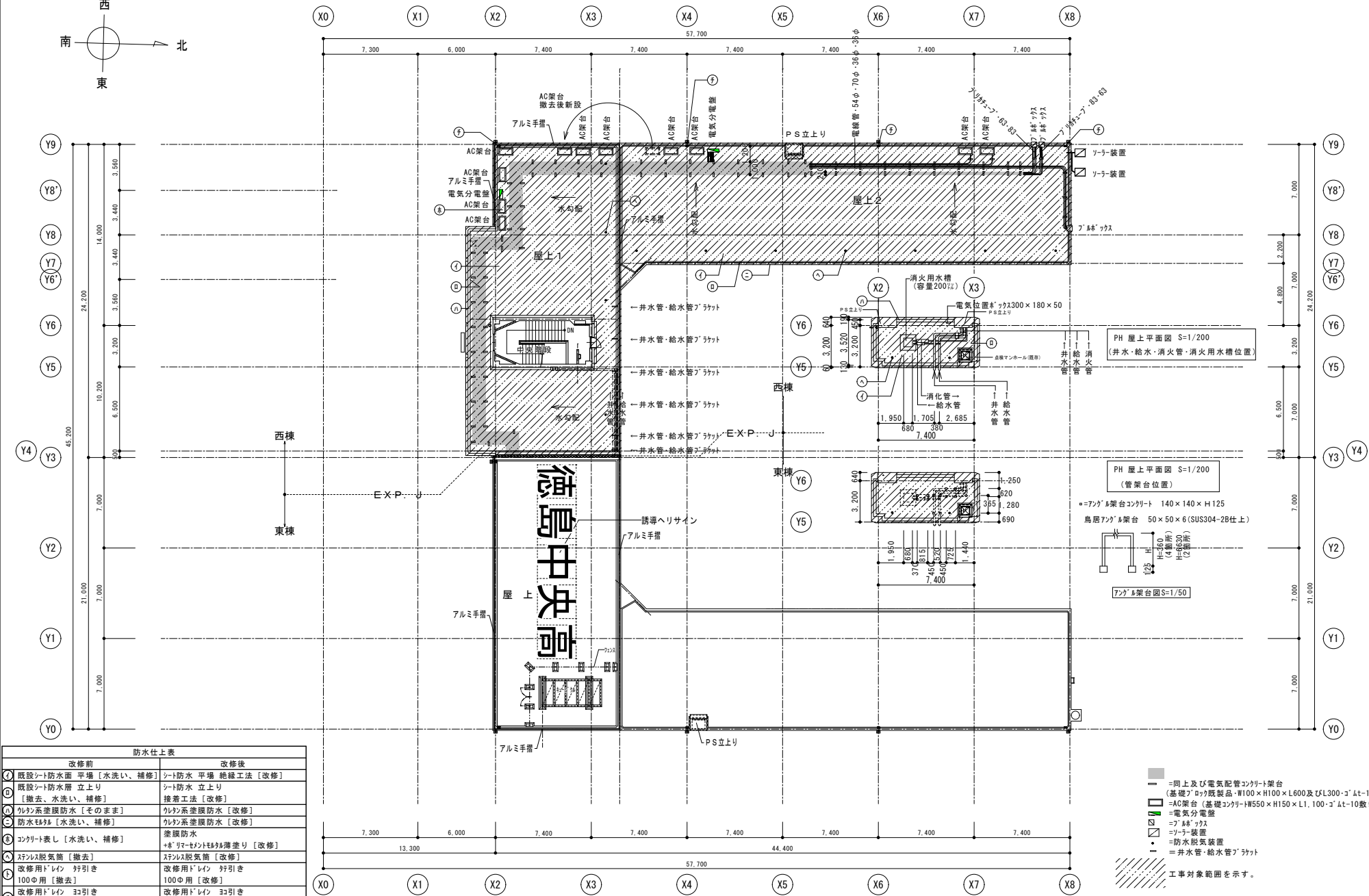
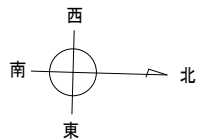
工事対象範囲を示す。

- 凡例
- A 通信…日、木曜日 8:45~16:25
 - B 昼間…月~金曜日 8:35~16:05
 - C 夜間…月~金曜日 17:00~21:00
 - ※ 教員 8:30~17:00 (火曜は年間20日程振替日で使用)
- 間仕切壁
 コンクリートブロック
 間仕切壁 木造

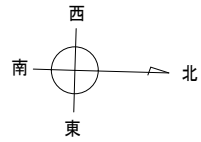
防水仕上表	
改修前	改修後
① 既設シート防水面 平場【水洗い、補修】	シート防水 平場 絶縁工法【改修】
② 既設シート防水層 立上り【撤去、水洗い、補修】	シート防水 立上り 接着工法【改修】
③ クレタ系塗膜防水【そのまま】	クレタ系塗膜防水【改修】
④ 防水卷材【水洗い、補修】	クレタ系塗膜防水【改修】
⑤ コンクリート表【水洗い、補修】	塗膜防水 +6"ウレタン樹脂薄塗【改修】
⑥ ステンレス脱気筒【撤去】	ステンレス脱気筒【改修】
⑦ 改修用ドレン 釘引き 100φ用【撤去】	改修用ドレン 釘引き 100φ用【改修】
⑧ 改修用ドレン 釘引き 100φ用【撤去】	改修用ドレン 釘引き 100φ用【改修】
⑨ "	オ-n-ロ-管【改修】
⑩ 防水形複層塗材E【水洗い、補修】	防水形複層塗材E【改修】

徳島県県土整備部営繕課	工事名	R6営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟外部改修工事
	図名	4階改修図

図面番号	B-009	株式会社 上設計 管理建築士 一級建築士 第232263号 上杉 重信 〒779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光寺町45番地7 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966
作図年	2024	



= 同上及び電気配管コンクリート架台 (基礎ブロック既製品・W100×H100×L600及びL300・3'at-10敷き)
 = AC架台 (基礎コンクリートW550×H150×L1,100・3'at-10敷き)
 = 電気分電盤
 = アルミ手摺
 = ソーラー装置
 = 防水脱気装置
 = 井水管・給水管ラケット
 = 工事対象範囲を示す。

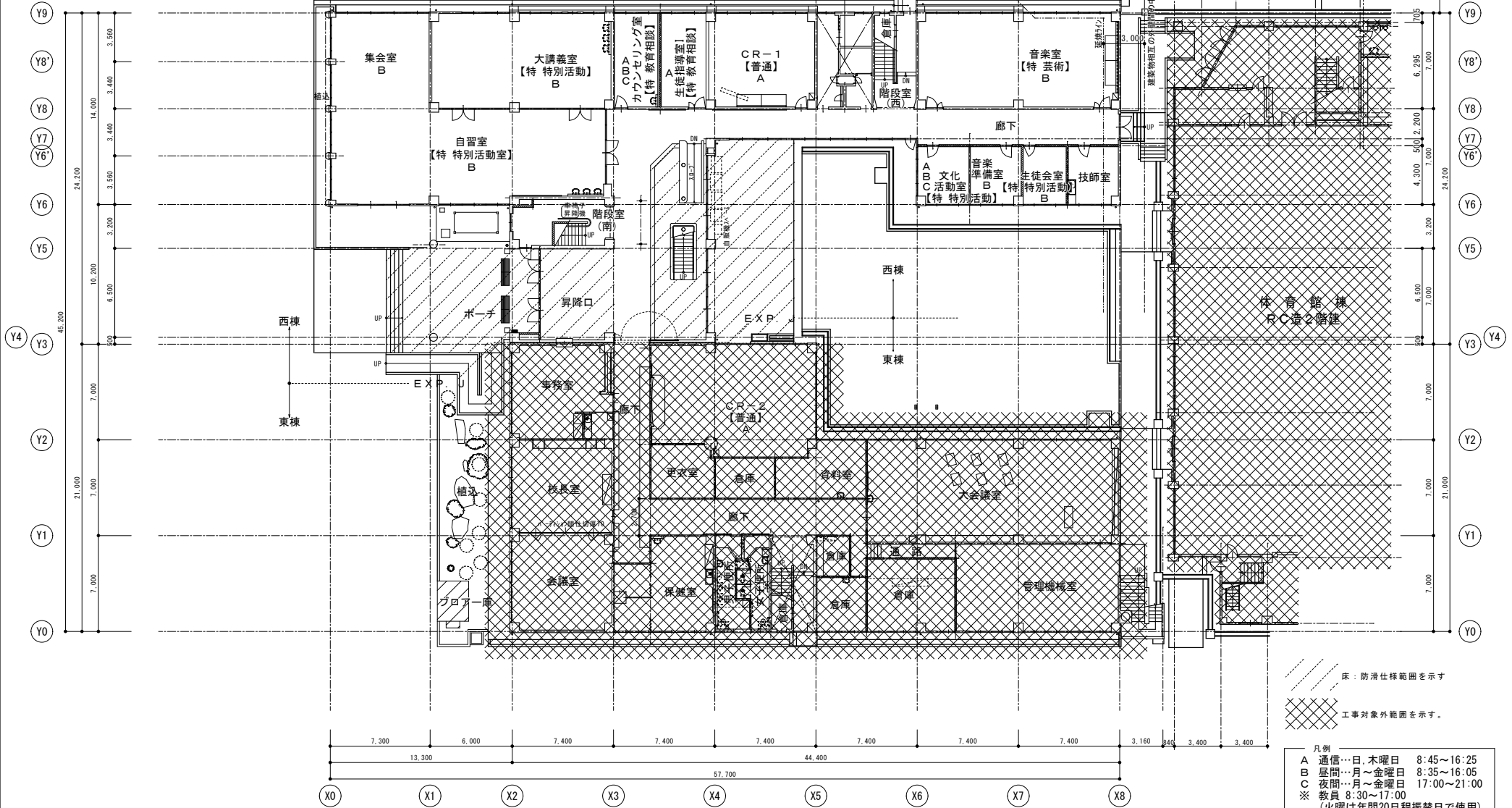


X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8

しらさぎ中学校
RC造2階建

改修後

1階平面図 S=1/200

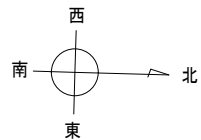


1階平面図 S=1/200

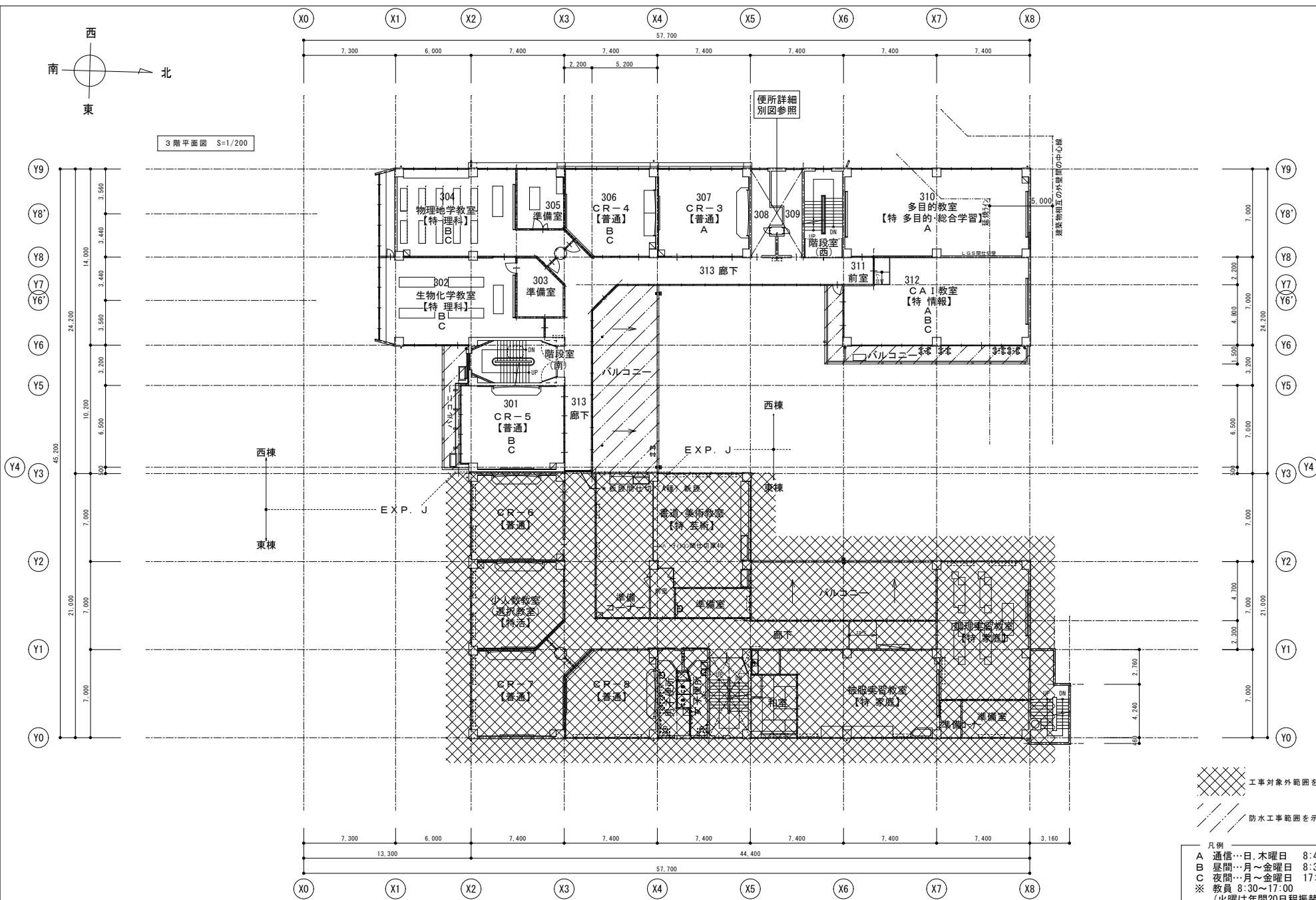
床: 防滑仕様範囲を示す
 工事対象外範囲を示す。

- 凡例
- A 通信…日、木曜日 8:45~16:25
 - B 昼間…月~金曜日 8:35~16:05
 - C 夜間…月~金曜日 17:00~21:00
 - ※ 教員 8:30~17:00
(火曜は年間20日程振替日で使用)
 - 間仕切壁 コンクリートブロック
 - 間仕切壁 木造

徳島県土整備部営繕課	工事名	R6営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟内部改修工事建築	図面番号	B-016	株式会社 上設計 管理建築士 一級建築士 第232263号 上村 重信 〒779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7 tel 0883-62-3955 fax 0883-62-3966
	図名	1階平面図 (改修後)	縮尺	A3 1/282 A2 1/200	
			作図年	2024	



3階平面図 S=1/200



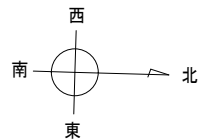
3階平面図 S=1/200

工事対象外範囲を示す。
 防水工事範囲を示す。

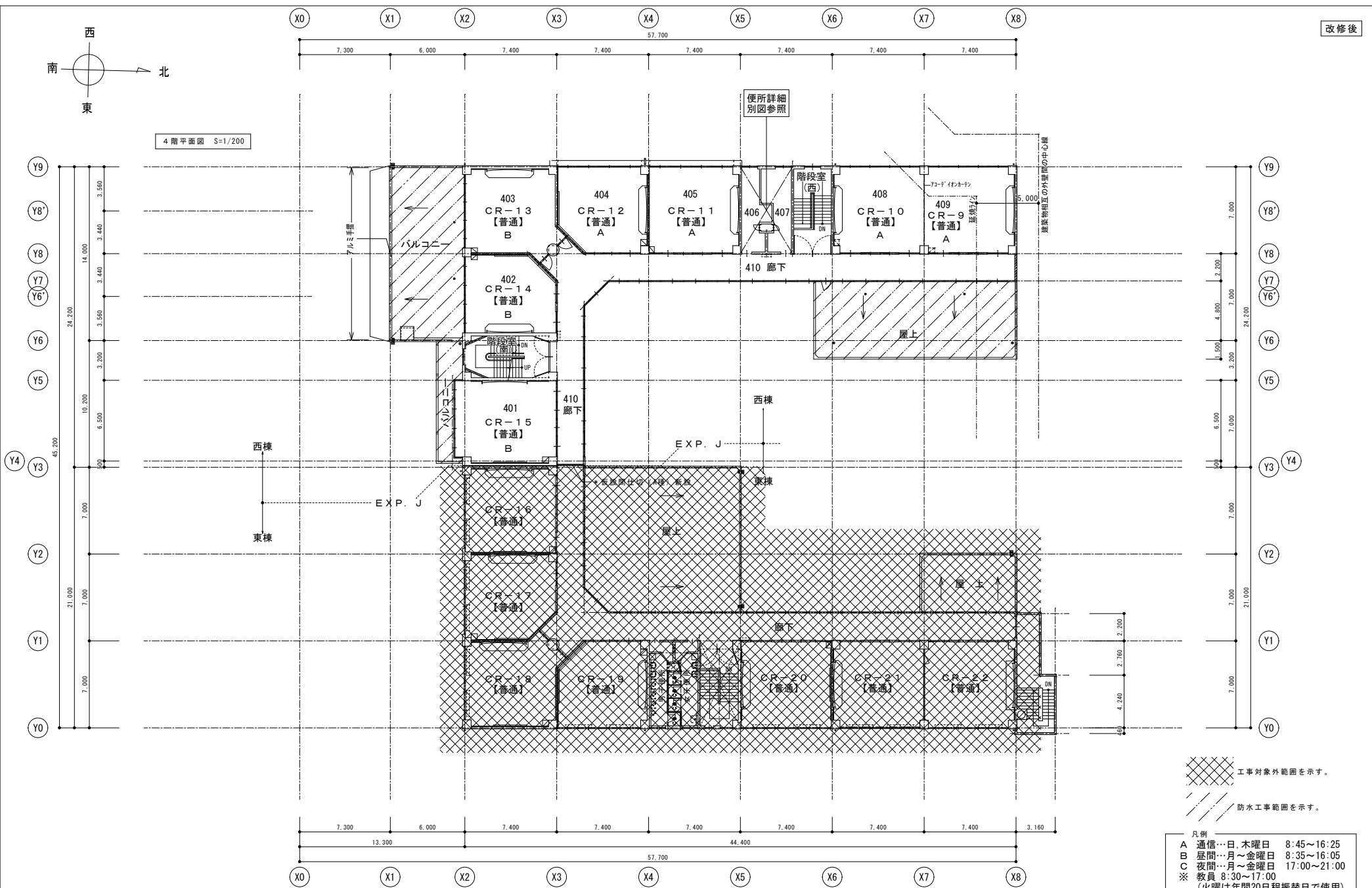
凡例
 A 通信…日、木曜日 8:45~16:25
 B 昼間…月~金曜日 8:35~16:05
 C 夜間…月~金曜日 17:00~21:00
 ※ 教員 8:30~17:00
 (火曜は年間20日程振替日で使用)
 間仕切壁 コンクリートブロック
 間仕切壁 木造

徳島県県土整備部営繕課	工事名	R6営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟内部改修工事建築		図面番号	B-018
	図名	3階平面図(改修後)		作図年	2024
	縮尺	A3	1/282	管理建築士	一級建築士 第232263号 上杉 重信
		A2	1/200	〒779-4101	徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7

株式会社上設計
 管理建築士 一級建築士 第232263号 上杉 重信
 〒779-4101 tel 0883-62-3955
 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7 fax 0883-62-3966



4階平面図 S=1/200



4階平面図 S=1/200

凡例
A 通信…日、木曜日 8:45~16:25
B 昼間…月~金曜日 8:35~16:05
C 夜間…月~金曜日 17:00~21:00
※ 教員 8:30~17:00
(火曜は年間20日程振替日で使用)
--- 間仕切壁 コンクリートブロック
--- 間仕切壁 木造

--- 工事対象外範囲を示す。
--- 防水工事範囲を示す。

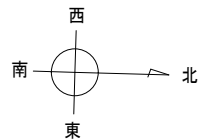
徳島県県土整備部営繕課

工事名 R6営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟内部改修工事建築
図名 4階平面図(改修後)

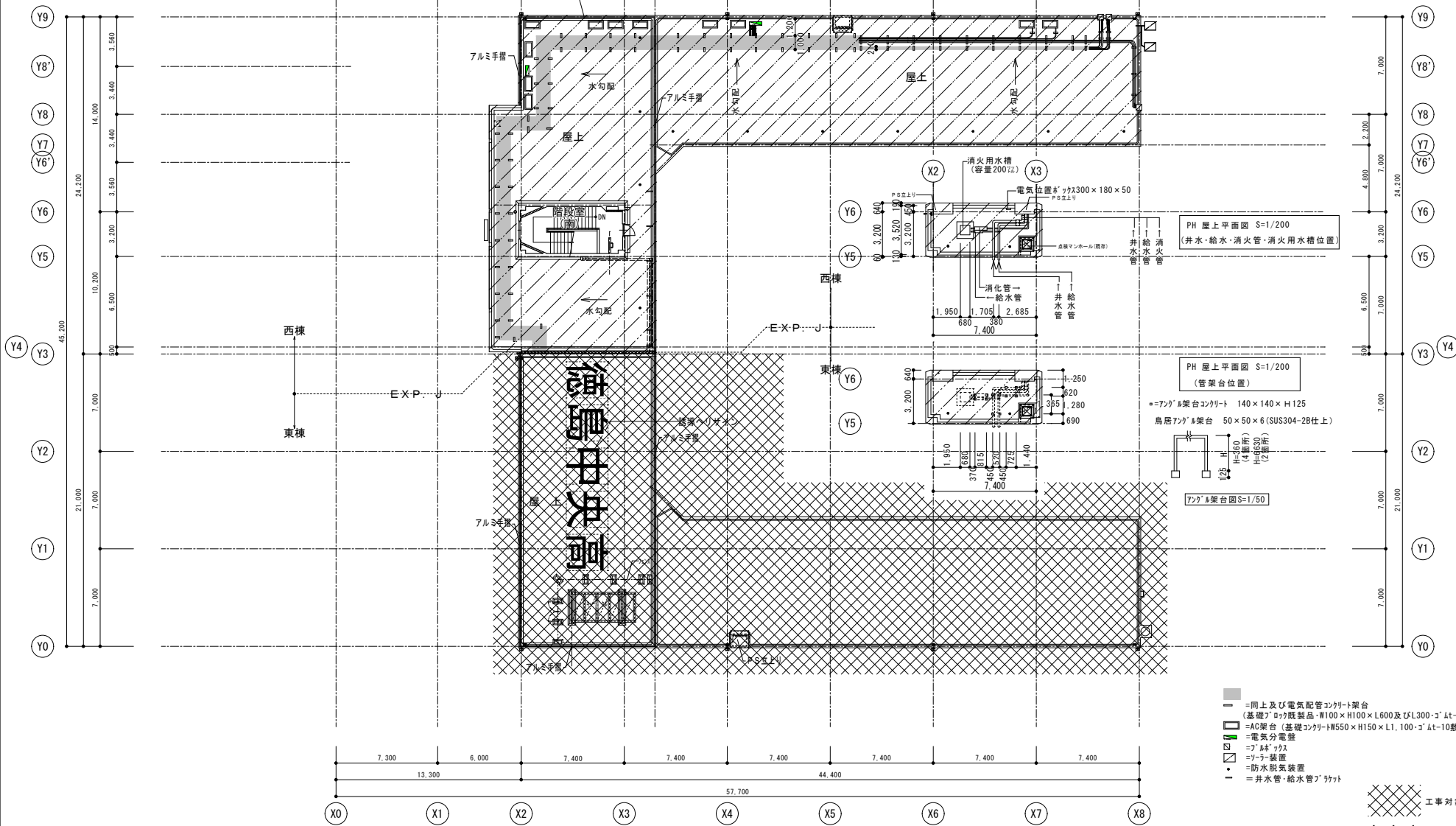
縮尺 A3 1/282
A2 1/200

図面番号 B-019
作図年 2024

株式会社 上設計
管理建築士 一級建築士 第232263号 上村 重信
〒779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7 tel 0883-62-3955
fax 0883-62-3966

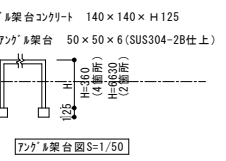


R階平面図 S=1/200

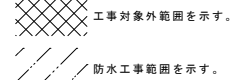


PH 屋上平面図 S=1/200
(井水・給水・消火管・消火用水槽位置)

PH 屋上平面図 S=1/200
(管架台位置)



- = 同上及び電気配管コナクリ架台 (基礎7'ロック既製品・W100×H100×L600及びL300・3'at-10敷き)
- = AC架台 (基礎コナクリW550×H150×L1,100・3'at-10敷き)
- = 電気分電盤
- = 7' 架台 (管架台位置)
- = 77' 架台
- = 77' 架台
- = 防水脱気装置
- = 井水管・給水管7'架台



R階平面図 S=1/200

徳島県土整備部営繕課	工事名	R6 営繕 徳島中央高等学校 徳・北矢三 西棟内部改修工事建築		図面番号	B-020
	図名	R・PH階平面図 (改修後)		作図年	2024
	縮尺	A3	1/282	図面番号	B-020
		A2	1/200	作図年	2024
				株式会社 上設計	
				管理建築士 一級建築士 第232263号 上柿 重信	
				〒779-4101 徳島県美馬郡つるぎ町貞光字町45番地7	tel 0883-62-3955
					fax 0883-62-3966